

発達に関する支援課題の5つの領域

個々及び集団を通して、個別支援を作成し、それらを学ぶ機会を作ります。

1.健康・生活／入退出の挨拶 うがい手洗い 水分補給 遊び道具の片づけ 尿排泄の訓練、落ち着いての振り返り等。療育中に基本的な生活スキルとリズムの獲得をしていきます。

2.運動・感覚／有酸素運動で脳調整と安定を促し、コントロール・バランス、協調運動の中で体性感覚を使うことで脳の可塑性を高め、自然の中で体を動かすことで感覚調整をしていきます。さらに感情コントロールにも繋げていきます。又ストレスの緩和も運動遊びを通して養っていきます。

3.認知・行動／対象者に運動とやり取りで刺激を促しながら、数字や物の概念を運動に結びつけながら、行動と認知の発達に繋げていきます。又苦手なことへの挑戦心も養っていきます。

4.言語・コミュニケーション／運動を通して自然の良質な刺激から感覚や感情を育てることによって発語に繋げていき、又集団の中でのコミュニケーションの基礎である、相手に思いを伝える、相手の気持ちを考える等に繋げて支援していきます。

5.人間関係・社会性／自己抑制や社会適応能力、例えば気持ちを切り替える、人に合わせる、感情を抑えて我慢できる、役割交代を理解する等、人と沢山かかわることで必要な社会性を育み、運動遊びの中で経験を通して発達を促していきます。